# 第19回
# 全国棚田（千枚田）サミット

人・まち・棚田 ともに未来へ　11/8（金）→9（土）

～伝えよう！まもる心・つけ継ごう！豊かな恵み～

棚田の稲も８月になると、早い品種では出穂の時期を迎え、一か月もすれば、黄金色に輝く実りの秋を迎えます。棚田を守るための水管理など、災害に負けない不断の努力が実を結ぶ時期でもあります。

段々畑でも柑橘類の摘果作業や山椒の収穫が最盛期を迎え、熱さに負けることのない地道な農作業が続けられています。

さて、棚田サミットの開催が３か月後に迫る中、実行委員会を中心に話し合いを進めており、準備は着々と進んでいます。

有田中央高校の学生も地域農家のサポートの下、あらぎ島や瀬井の棚田での農作業を通じて、棚田地域の重要性や活性化に向けた取り組みを研究しており、サミット初日に事例発表を行う事となっています。

サミット成功とともに後継者の育成を見据えた地域一体となった取り組みが進められています。

有田中央高校学生の棚田での作業風景

## サミット参加者募集中 !!
## 締切日は８月末

先月中旬から一般参加者の募集を開始しています。

当日の飛び入り参加はできませんので必ず事前申込みをお願いします。詳細は、当町窓口または、有田川町ホームページでご確認ください。なお、ご不明な点がありましたら有田川町実行委員会事務局までお気軽にお問い合わせください。

第19回 全国棚田（千枚田）サミット

人・まち・棚田 ともに未来へ

～伝えよう！まもる心・つけ継ごう！豊かな恵み～

## サミット通信【Vol.7】